

LOBO 調査

早期景気観測

5月 日商調査日 5月8日～19日
当所調査日 5月8日～21日

LOBO調査とは

全国各地の商工会議所が参加して、日本商工会議所が実施する全国規模の早期景気観測調査。当所ではさらに、会員企業40社の皆さまにも調査へのご協力をいただき、より地域に根差した調査を実施。

日商調査

5月の全産業DI ▲65・8
(前月比 ▲5・4ポイント悪化)

○中小企業の景況感

新型コロナウイルスの流行に伴い、消費者の外出自粛や企業の営業自粛・休業の動きが広がる中、ゴールデンウィークの観光需要消失などにより幅広い業種で売上が低迷している。加えて、固定費の負担増が資金繰りを急激に悪化させており、特にサービス業では89年4月の調査開始以来、過去最悪の▲77・6を記録した(これまでは、2009年2月時の▲72・6)。また、新型コロナウイルスの影響長期化を懸念し、設備投資や採用、新規事業の見直しに踏み切るとの声も聞かれるなど、中小企業の景況感是一段と厳しさを増している。

○先行き

先行き見通しDI (6～8月) が▲69・0 (5月比 ▲3・2ポイント) 悪化。緊急事態宣言の解除や緊急経済対策の政策効果による消費喚起を期待する声が聞かれるものの、企業・消費者のマイ

下低迷やインバウンドを含む観光需要の回復遅れ、サプライチェーン・生産活動への影響長期化などへの懸念に加え、新たな生活様式の浸透に伴うビジネスモデルの変容を指摘する声も多く、先行きに對して厳しい見方が続く。

【関東ブロックの業況についてコメント】

一部の製品や電気設備用部材などで欠品が発生しており、工事を中断せざるを得ない。また、感染リスク抑制のため工事延期を決定した取引先もあり、先行きが見通せない(電気設備工事業)。

新型コロナウイルスの影響により、展示会の中止・延期が相次いでおり、主力となる国内向け製品の販売機会を喪失。今後の売上に大きく影響を及ぼすことが懸念される(一般産業用機械製造業)。

ゴールデンウィークを中心に外出自粛の動きが広がり観光客が激減。5月の観光客向けの売上はほぼゼロまで落ち込んだ(菓子製造業)。

当所調査

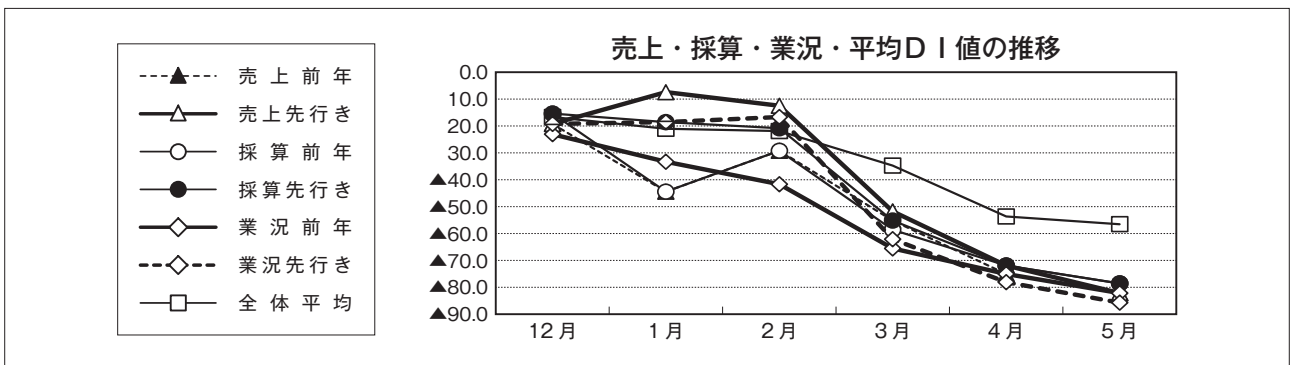
【新型コロナウイルスの影響から、DIは過去最低の数値に悪化】

全体平均DIは▲56・5ポイントで、前月に比べ▲2・9ポイントの悪化。項目別では、前月と比較し売上先行きが▲10・2ポイント、業況先行きが▲7・6ポイントと先行きに対して悪化が見られた。

寄せられたコメントには「新型コロナウイルス感染症の影響は、車検・点検整備に変化はないが、車輛販売に大きく影響がでている。先行きが不安」(自動車整備業)、「新型コロナウイルス感染症の影響で好転の兆しが全く見えない状況」(染色業)という声が聞かれた。

(全産業) 水戸商工会議所会員企業LOBO調査(DI値推移) (サンプル数40社)

項目	令和元年		令和2年				
	5月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上前年	▲ 3.8	▲ 19.2	▲ 44.4	▲ 29.2	▲ 55.2	▲ 75.0	▲ 82.1
売上先行き	▲ 7.7	▲ 19.2	▲ 7.4	▲ 12.5	▲ 51.7	▲ 71.9	▲ 82.1
採算前年	▲ 19.2	▲ 15.4	▲ 44.4	▲ 29.2	▲ 58.6	▲ 71.9	▲ 78.6
採算先行き	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 18.5	▲ 20.8	▲ 55.2	▲ 71.9	▲ 78.6
仕入前年	▲ 42.3	▲ 34.6	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 24.1	▲ 31.3	▲ 28.6
仕入先行き	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 29.6	▲ 37.5	▲ 24.1	▲ 43.8	▲ 35.7
社員前年	26.9	7.7	14.8	8.3	17.2	0.0	▲ 3.6
社員先行き	26.9	7.7	14.8	4.2	17.2	0.0	▲ 7.1
業況前年	0.0	▲ 23.1	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 65.5	▲ 75.0	▲ 82.1
業況先行き	▲ 11.5	▲ 19.2	▲ 18.5	▲ 16.7	▲ 62.1	▲ 78.1	▲ 85.7
資金前年	▲ 11.5	▲ 19.2	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 27.6	▲ 59.4	▲ 57.1
資金先行き	▲ 23.1	▲ 11.5	▲ 18.5	▲ 20.8	▲ 27.6	▲ 65.6	▲ 57.1
全体平均	▲ 9.9	▲ 16.7	▲ 21.0	▲ 21.9	▲ 34.8	▲ 53.6	▲ 56.5



*DI値(景況判断指数) = (増加・好転などの回答数 - 減少・悪化などの回答数) / 全回答数 × 100。ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりや意味するもの。